緊急企画

―まもなく到来する薬剤師過剰時代を乗り切るヒント―

実務・教育・研究を三本柱とし熊本県 No.1 の薬局を目指しています！

生薬調剤対応

クリーンルーム設置

泗水中央薬局グループ

店舗数８店舗

薬局ローテーション

様々な診療科を学ぶことができる

漢方外来 → 皮膚科 → 耳鼻科・産婦人科 → 胃腸科内科 → 代謝内科（糖尿病） → 小児科 → 循環器内科 → 眼科 → 呼吸器内科 → 整形外科 → 漢方外来

当グループでは、薬局見学会を行っております

- クリーンルーム設置（熊本県の保険薬局で唯一設置）
- 24 時間対応
- 在宅ホスピス業務

株式会社　ハートフェルト

〒861-8039 熊本市長嶺南 2-8-83 セントラルファーマシー長嶺 3F

TEL 096-381-0820　FAX 096-381-0860（人事担当：天方（あまがた））

HP アドレス ▶ http://heartfelt-web.com

薬剤師募集中

全国に多くの薬学部が誕生し、近い将来に予想される薬剤師過剰時代。このような中で、薬剤師の経営者は未来をどう考えているのだろうか。

株式会社ハートフェルト 代表取締役の稲葉一郎氏（薬剤師）に話を聞いた。

薬学部の新設ラッシュについて

「規制緩和により、薬学部が相次いで新設され、2008年には75校（2002年46校）になりましたが、2007年には定員割れの大学が11大学にのぼっています。

2002年の厚生労働省の薬剤師問題検討会報告によると、薬剤師の需要予測は、2037年に供給が36万人、需要が23万人で、13万人の余剰が出ると予測されています。近い将来、薬剤師過剰となることは明白です。当然のことですが、これからは国家試験に合格することと、薬剤師として働くことは、別に考えるべきでしょう。（国家試験に）合格すれば就職が約束された時代は終わるということです」

薬剤師過剰時代に必要なものについて

「薬剤師過剰の時代だからこそ、図❶に示すような薬剤師自身のキャリアデザインの考え方が重要になると思っています。5年後、10年後の（薬剤師としての）自分を想像しながら勉強会や研修会に参加し、その実績を証明することが何よりも大切です。そのためには薬剤師会に所属し、認定機構の窓口として大いに（薬剤師会を）活用すべきでしょう」

これからの就職戦線について

「薬剤師の需要と供給の関係から考えると、就職戦線は大きく変化するでしょう。中でも、転職の際はその変化が顕著に表れると考えています。

現在は図❷に示すように薬剤師を求めている企業などが求人広告を出すのが主流だ。転職を考えている薬剤師は、求人票を見て、条件に合う企業に応募する。しかし、薬剤師の数が増えると、企業側優位の状況になるため、求職していた薬剤師は受身の姿勢から積極姿勢に転じる必要がある。個人的な意見として、これからの転職は図❸に示すように薬剤師が自分をアピールしなければならないような時代になるでしょう」

（※図❶～図❹、稲葉氏作成）

薬剤師として社会へ羽ばたく薬学生へ

「医療人の自覚を持ち、自分のキャリアデザインをしっかり考える。『井の中の蛙（かわず）』ではダメ。オールジャパンで考えてほしい。情報が集まるところには、人が集まる。社会に出てからも、日々の業務だけで一日を終えるのではなく、研修会や学会に参加して薬業界が今後どういう方向に向かっていくのかを考え、常に問題意識を持ってほしい。

また、医療法や薬事法が改正されると薬局業務も変化するため、政治に関心を持つことも大切になります。薬剤師の代表として、2年後に藤井もとゆき先生を必ず参議院議員に当選させることが必要です」

図❶ 薬剤師の職能アップ（例）

近い将来、薬剤師過剰時代へ

- 現在に至る
- 皮膚科の門前薬局　3年
- 内科小児科の門前薬局　2年
- 循環器内科の門前薬局　2年
- 病院（薬剤部）　2年

介護支援専門員
漢方薬・生薬認定薬剤師
実務実習指導薬剤師

サプリメントアドバイザー
認定薬剤師

医療環境管理士

図❷ 薬剤師求人広告（例）

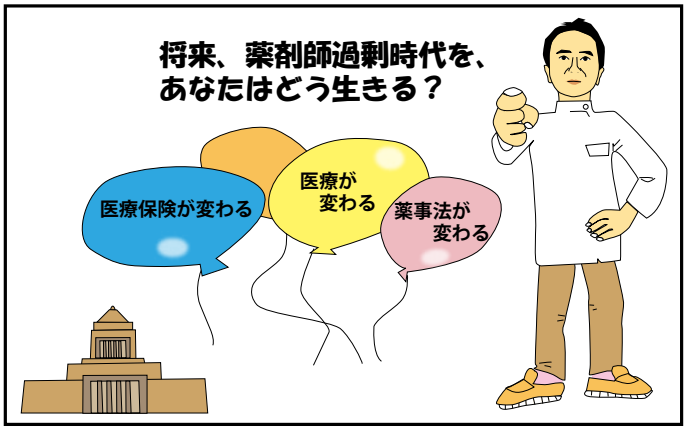
登録No.	業種	募集形態	募集地区	年収	時給	処方箋科目	調剤経験	備考
1111	OTC	常勤・パート	F市	500万～	2000円	—	不要	管理薬剤師
1121	調剤・OTC	常勤	T市	450～600万		内・循	不要	能力、経験により優遇
1113	調剤薬局	常勤	Y市	500万～		総合	不要	住居手当応相談
1115	調剤薬局	常勤	K市	420万～		整	2年以上要	管理薬剤師募集
1154	調剤薬局	常勤	F市S区	400～500万		内	不要	地下鉄駅前週休2日制

図❸ 将来の求職広告（案）

28才、女。　420万
総合病院で2年、調剤薬局で循環器内科を2年、内科小児科を2年経験。介護支援専門員、認定薬剤師、サプリメントアドバイザー。7枚／時間、60枚／日。

34才、男。　500万
調剤薬局で皮膚科を2年、循環器内科を2年、小児科を3年、総合診療科を4年経験。糖尿病専門薬剤師。10枚／時間、70枚／日。新規立ち上げ2回、管理薬剤師の経験あり。将来独立を考えています。

37才、女。　480万
総合病院の門前薬局で5年、耳鼻科クリニックの門前薬局で3年、内科小児科クリニックの門前薬局で4年の経験あり。介護支援専門員、医療環境管理士の資格あり。8枚／時間、50枚／日。管理薬剤師可能。



図❹

いなば　いちろう

福岡県出身。福岡大学薬学部を卒業後、エーザイ㈱にMRとして入社。1995年泗水（しすい）中央薬局を熊本県に開局、2005年熊本大学大学院薬学研究科を卒業。その後、熊本県の保険薬局で唯一「クリーンルーム」を持つ薬局をつくるなど、個性あふれる薬局を8店舗展開。役職は熊本県薬剤師会常務理事、熊本市薬剤師会理事、日本緩和医療薬学会評議員・理事、くまもと藤井もとゆき後援会会長など。